

江戸時代に幕府の直轄地 天領となった日田は、代官所が置かれ、幕府の九州支配の中心となった。日田の商人は幕府の公金を扱うことで、九州の金融経済の中心となるとともに、経済的な豊かさを背景に俳諧などの文化的な活動が盛んになった。

基本  
方針

1.文化財を「知る」

2.文化財を「守る」

3.文化財を「活かす」

課題

■課題1：文化財（指定・未指定）の特質の理解  
-調査と研究-が不十分

- ① 文化財の把握調査が十分に実施されていない
- ② 調査・研究環境の充実が必要
- ③ 調査・研究人材の育成推進が必要
- ④ 世界遺産登録の推進が不十分

■課題2：文化財の価値の発見と共有が不十分

- ⑤ 価値の適切な評価が必要
- ⑥ 公開・情報発信による価値の共有が不十分

■課題1：文化財の積極的な保存が不十分

- ⑦ 積極的な保存の推進が必要

■課題2：文化財を支える人材の育成が不十分

- ⑧ 市民との協働が不十分
- ⑨ 担い手の育成が不十分

■課題1：地域振興への活用が不十分

- ⑩ 文化財を活かしたまちづくりが不十分

■課題2：教育事業との連携を強化

- ⑪ 関係各課との連携強化による学習機会の充実が必要

■課題3：積極的な情報発信の推進が不十分

- ⑫ 情報発信の取組が不十分

方針

■方針1：文化財の特質の理解  
-調査と研究-の充実

- ① 文化財の把握調査を推進する
- ② 調査・研究環境を充実する
- ③ 調査・研究人材の育成を推進する
- ④ 世界遺産登録に向けた取組を推進する

■方針2：文化財の価値の発見と共有を推進

- ⑤ 価値の適切な評価を行う
- ⑥ 公開・情報発信による価値の共有に取り組む

■方針1：文化財の積極的な保存を推進

- ⑦ 積極的な保存の推進を図る

■方針2：文化財を支える人材の育成を推進

- ⑧ 市民との協働を推進する
- ⑨ 担い手の育成を推進する

■方針1：地域振興への活用を推進

- ⑩ 文化財を活かしたまちづくりを推進する

■方針2：教育事業との連携を強化

- ⑪ 学習機会の充実を図る

■方針3：積極的な情報発信の推進

- ⑫ 情報発信の取組を推進する

措置  
(取組例)

1 文化財総合把握調査事業

- ・市民参画による無形の民俗文化財や有形文化財（美術工芸品）などの分野の未指定文化財の総合把握調査を計画的に行う
- ・総合把握調査により判明した未指定文化財の詳細調査を行う
- ・文化財調査成果の整理を行う(文化財カルテの作成)

■取組主体：文化財保護課、市民、関係機関

■実施期間：R9～17

33 市民との協働により文化財を支える制度の創設

市民との協働により、地域に身近な歴史や文化を守り育てる「市民文化財サポーター制度」の創設について検討する

■取組主体：文化財保護課、関係機関、団体・事業者、所有者、市民

■実施期間：R7～9

49 ガランドヤ古墳公園維持管理事業

筑後川流域自治体と連携した装飾古墳一斉公開を実施する

■取組主体：文化財保護課、広域連携

■実施期間：R7～17

ガランドヤ古墳（国指定史跡）



本市の四つの歴史文化の特性を踏まえ、指定・未指定を問わず、歴史的・地理的関連性に基づき、一定のまとまりとして、五つの物語を構築し、「関連文化財群」として捉えることで、文化財の多面的な価値・魅力を発見することができる。

## 阿蘇・くじゅう山系や英彦山系の美しい山々と清流、豊かな自然が育む歴史文化

### 関連文化財群①

【テーマ】山々がもたらす恵みと人々の営み

【概要】

周囲を火砕流によって形成された台地や丘陵に囲まれ、これらの火砕流からなる腐植に富んだ土壌により、スギやヒノキの植林化が進み、林業や木工業が盛んになったほか、金の産出が産業を支え、また地域資源を活かした小鹿田焼の伝統技術が継承されてきた。

### 関連文化財群②

【テーマ】五穀豊穡と無病息災の祈り、地域に残る伝統行事

【概要】

本市には、五穀豊穡・無病息災を願う、古い由来を持つ伝統行事が市内の各地域に残されている。市内中心部では、毎年7月に天領であった江戸時代を起源とする「日田祇園」が、開催される。また、秋の祭日に合わせて奉納される楽（杖楽）が多く行われ、日田を含む県西部は県南部とともに、大分県内における杖楽の二大開催地である。

## 三隈川との共生で育まれた歴史文化

### 関連文化財群③

【テーマ】川との共生の証と流域の景色

【概要】

日田盆地を流れる三隈川は、原始・古代から様々な恵みをもたらし、近世になり整備された河岸や多くの水路は、河川交通の発達や農業生産力を向上させるなど、人々の暮らしを支えてきた。また、三隈川沿いの史跡や建造物は、本市の特徴的な河川景観を作り出している。一方、周囲を山に囲まれた盆地の地形的な特性から、歴史の中で、幾度となく水害に見舞われている。

## 人・モノが織りなす北部九州の交通の要に育まれた歴史文化

### 関連文化財群④

【テーマ】人とモノが集まる文化のクロスロード

【概要】

原始・古代から中世に至るまで、筑後川を介して西からの文化を吸収しながら発展し、遺跡・出土品や仏像群などから、北部九州を中心に他地域と交流していた様子を窺うことができる。

## 天領日田の商人が育んだ歴史文化

### 関連文化財群⑤

【テーマ】江戸時代に経済が発展し、文化が栄えた日田

【概要】

江戸時代に幕府の直轄地として代官所が置かれ、九州にある天領支配の拠点となった。日田の商人たちは代官所の公金を扱うことで経済的に豊かになり、文化的な活動が盛んになった。豆田町と隈町に残された歴史的建造物や咸宜園跡などが往時の興隆を今に伝えている。



- 【左上から】
- ① 小鹿田焼
  - ② 日田祇園
  - ③ 鵜飼
  - ④ 吹上遺跡出土品
  - ⑤ 日田市豆田町  
伝統的建造物群保存地区



# 【関連文化財群②】五穀豊穰と無病息災の祈り、地域に残る伝統行事

## 概要

本市には、五穀豊穰・無病息災を願う、古い由来を持つ伝統行事が市内の各地域に残されており、なかでも、毎年7月に市内中心部の隈・竹田、豆田地区で行われる「日田祇園」は、天領であった江戸時代を起源とし、夏の伝統行事として親しまれている。

秋に行われる楽には、五馬地区のくにち楽のほか、磐戸楽や大野楽などがある。これらの楽では杖を使うのに加え、磐戸楽・大野楽では河童の所作を真似する河童楽の要素もある。また、有田地区に伝わるやっこ振り行列は、有田八幡社の秋祭りの中心的な行事であり、日田天領まつりの西国筋郡代行列でも披露されている。

中津江村の宮園津江神社では、祈年祭で五穀豊穰や家内安全を願う老松様の的ほがし祭や例祭で小麦餅をついて供える老松様の餅搗祭など地域特有の行事が行われている。

そして、こうした祭りは地域のつながりや一体感の醸成に寄与している。

## 関連文化財群に関する課題と方針

### 【課題】

- ・無形の民俗文化財の保存・継承を図るため、活動団体が行う後継者の確保、育成に対する支援が必要である。
- ・担い手の減少により、保存・継承が危惧される無形の民俗文化財については、映像による記録化を行う必要がある。
- ・市民との協働による文化財を支える仕組みや取組について検討する必要がある。
- ・子どもたちを対象に、伝統文化が持つ魅力を伝え、関心を高めながら、将来的な担い手の育成につなげる取組が必要となる。
- ・市民の興味・関心を高め、担い手の確保につなげるためにも、物語に基づいた魅力の発信を行う必要がある。

### 【方針】

- ・無形の民俗文化財の活動団体に対して支援を行うとともに、市民との協働による保存・継承を図る。
- ・文化財を後世に伝えていくため、無形の民俗文化財の記録保存に取り組む。
- ・市民との協働により、文化財を保存・継承する仕組みについて検討する。
- ・子どもたちに対して、学校や公民館と連携して、文化財を活用した学習機会を提供することで、文化財の価値の理解促進を図り、担い手の育成につなげる。
- ・物語に基づいた魅力の発信を行い、広く市民に周知する。

## 関連文化財群に関する主な措置

### 37 指定文化財等保存補助事業

各団体が行う伝統文化の保存・後継者の育成などの活動経費の一部を助成する

- 取組主体：文化財保護課、団体・事業者
- 実施期間：R7～17

### 38 無形民俗文化財記録保存事業

映像により無形の民俗文化財の記録保存を行うとともに、後継者の養成の教材として活用する

- 取組主体：文化財保護課、団体・事業者
- 実施期間：R7～17

## 主な構成文化財位置図



日田祇園の曳山行事（国指定重要無形民俗文化財）

